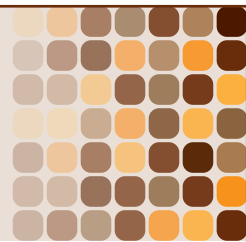




ポート・ヒロックで暮らす

LIFE IN PORT-HILLOCK

ご入居の方のインタビューや生活の様子をご紹介します



景色の良い所で穏やかに暮らしている事を幸せに感じています

入居されたきっかけを教えてください

姪がポート・ヒロックの事を教えてくれました。

自宅で主人を介護していましたが、そんな中私が介護に疲れ、体調を崩してしまいました。自宅での介護に限界を感じて、「元気な私と介護が必要な夫が夫婦で一緒に住める」という条件で介護施設を探し始めました。

夫婦部屋がある介護施設は他にもありましたが、元気な私には少し抵抗感がありました。その点、ポート・ヒロックは同じ建物に一般棟、介護棟があるので最適でした。



K 様

昨年県内中部よりご夫妻で入居されたK様ご夫妻。ご主人様は介護棟、奥様は一般棟で生活されています。「夫婦と一緒に住める、24時間の看護・介護体制」が入居の決め手となりました。

入居して良かった事

入居してから一ヶ月経った頃、真夜中に夫の住む介護棟の看護師から連絡がはりました。夫が急変したので救急搬送するとの事。自分一人だったらとても不安だったと思いますが、スタッフが的確に判断し、手配してくれて本当に助かりました。あの時、本当に入居して良かったと思いました。こちらに越してきてから夫も私もお互い安心して、リラックスしています。

また、窓から眺める景色も美しいです。こういう所で心穏やかに暮らしている事を幸せに感じています。

今の生活について

毎日朝 10 時とお昼 3 時時頃に夫の居室を訪問して、一緒に音楽を聞いたり、テレビを観たりおやつを食べたりして過ごしています。

<K様はポート・ヒロックのイベントやサークル活動にも積極的にご参加されています>

山城先生（海邦病院理学療法士）のストレッチ体操に参加していますが、彼の張りのある大きな号令に自分の歳も忘れて張り切ってやっています。音読会も良い取り組みだと思います。一般棟の皆さんと「沖展」や浦添美術館に行った「お出かけ企画」も良かったし、施設内イベント等、文化の香りの高さを感じます。今後は、元々やっていた短歌を再開したいです。



将来介護が必要になってもポート・ヒロックに住み続けられます。

ポート・ヒロックには同建物内に一般棟と介護棟があります。K様ご夫妻のように、お元気な方と介護が必要な方も一緒に入居することが出来ます。

一般棟入居者が将来介護が必要になった場合、一般棟の自室で介護サービスを受けながら生活することができ、また、常時介護が必要な場合には一般棟から介護棟へ住み替えることができます。

